



2025年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com/japanese/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村 華代

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画・経理部長 (氏名) 霜田 正樹

TEL 03-3456-0561

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	13,351	20.8	446	45.8	337	20.4	198	22.7
2024年2月期第3四半期	11,055	30.6	306	270.3	280	290.8	256	166.1

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 228百万円 (41.4%) 2024年2月期第3四半期 389百万円 (133.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	94.74	
2024年2月期第3四半期	122.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	17,309	3,713	21.5
2024年2月期	17,087	3,526	20.6

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 3,713百万円 2024年2月期 3,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期		0.00		20.00	20.00
2025年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,821	18.4	593	34.4	462	13.5	230	42.1	109.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期3Q	2,099,376 株	2024年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2025年2月期3Q	3,596 株	2024年2月期	3,596 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年2月期3Q	2,095,780 株	2024年2月期3Q	2,095,801 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年3月1日～2024年11月30日）におけるわが国の経済は、前連結会計年度に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況が沈静化し、正常化が大きく進みましたが、インフレによって実質賃金の伸びが抑えられるなど力強さを欠き、緩やかな回復に留まっております。海外各国では、欧米ではインフレ減速と金融緩和に向けた動きの中で緩やかな成長基調にあるのに対し、中国経済は引き続き不動産不況を背景に内需が弱含んで成長に減速が見られるなど、地域間の跛行性が見られます。また、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化、中東情勢の悪化もあって地政学的リスクは高止まり、資源・エネルギー価格の上昇や物流の遅延等が日本を含めた世界的なインフレに波及、各国の金融政策への影響を通じて為替相場の変動も引き起こし、経済活動に影響を及ぼすと共に先行き不透明感を高めております。

化粧品業界におきましては、国内では、メイクアップ製品を中心に、インバウンド需要も大きかった新型コロナウイルスの感染拡大前を依然下回っておりますが、消費マインドも大きく改善し、緩やかな回復・改善傾向が続いております。昨年からは、新型コロナウイルス禍で低調だった新製品発売も大きく回復し、需要喚起に貢献しているものと思われまます。海外においても、化粧品需要は改善の傾向にあるものと思われまます。

当社グループにおきましては、第2四半期連結累計期間までの国内・海外化粧品メーカーからの受注は、特に国内では新型コロナウイルス禍明けの新製品発売に向けた受注の波や大口受注の獲得もあって大きく伸びましたが、足元は新製品の受注の波も一旦沈静化しております。つくば工場第3期拡張等の設備投資によって実現した生産設備の稼働も第2四半期連結累計期間は大きく向上しましたが、足元は一旦低下しております。また、原材料費や各種経費等もインフレで上昇していることから、各種コスト圧縮努力を継続し、収益性の維持・改善に取り組んでおります。

今後も、化粧品需要の緩やかな回復・成長基調は継続していくと思われまますが、全般的なインフレ、採用難や人件費上昇、金利上昇や為替変動等も継続しており、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢のような地政学的リスクも高止まりしていることから、引き続き経済全般の先行き不透明感が残ります。そのような経営環境下、黒字の継続と成長に向けて「中期事業戦略ビジョン(2022-2026)」の諸施策を着実に実行してまいります。お客様の新製品ニーズに対応した処方のご提供や生産対応などの要請に応え、中長期的には化粧品へのクリーン・ビューティー、SDGs等への対応といった当社の強みを更に強化するなど、変化し続ける環境で強みを活かして業績の改善を図るべく更なる努力を重ねてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における財政状態及び経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、化粧品需要の回復を背景とした受注の増加と円安の影響もあり、前年同期比20.8%増の13,351百万円となりました。

利益面では、引き続きつくば工場第3期拡張等による諸費用が高止まり、加えて原材料費や人件費、各種経費等がインフレで上昇している中ではありますが、受注の増加による生産設備の稼働向上と各種コスト圧縮努力により、営業利益は前年同期比45.8%増の446百万円、経常利益は前年同期比20.4%増の337百万円となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は繰延税金資産の取崩に伴う法人税等調整額92百万円の計上等もあって前年同期比22.7%減の198百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

（日本）

新型コロナウイルス禍明けで国内外の化粧品需要は回復の傾向にあり、特に国内では第2四半期連結累計期間にかけて、国内・海外化粧品メーカー各社からの新製品の受注の波と大口受注の獲得もあったことから、足元は受注の波が沈静化したものの、売上高は前年同期比27.1%増の9,490百万円となりました。利益面では、引き続きつくば工場第3期拡張等による諸費用が高止まり、加えて原材料費や人件費、各種費用等もインフレで上昇している中ではありますが、第2四半期連結累計期間の大口受注等による生産設備の稼働向上で打ち返し、営業利益は前年同期比310.0%増の517百万円となりました。

（仏国）

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.と子会社Nippon Shikizai France S.A.S.の所在する欧州は、当第3四半期連結累計期間（1～9月）において、景気は依然として低迷、化粧品の受注は前連結会計年度の回復ペースが鈍化してユーロ建ての売上高は減収となりましたが、円安の為に円建ての売上高は前年同期比6.1%増の3,914百万円となりました。利益面では、ユーロ建ての売上高の減収に加えて人件費や諸物価の高騰もあり、75百万円の営業損失（前年同期は178百万円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、222百万円増加し、17,309百万円となりました。総資産の増加は、固定資産が225百万円増加し、流動資産が2百万円減少したことによるものであります。流動資産の主な増減は、現金及び預金が204百万円、棚卸資産が80百万円減少し、流動資産のその他が244百万円増加したこと等によるものであります。固定資産の主な増加要因は、建設仮勘定が246百万円、機械装置及び運搬具が62百万円増加し、建物及び構築物が49百万円、投資その他の資産のその他が43百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、35百万円増加し、13,595百万円となりました。負債合計の増加は、固定負債が375百万円増加し、流動負債が339百万円減少したことによるものであります。流動負債の主な減少要因は、電子記録債務が307百万円、支払手形及び買掛金が117百万円、短期借入金が114百万円、流動負債のその他が112百万円減少し、賞与引当金が312百万円増加したことによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金が413百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、186百万円増加し、3,713百万円となりました。増加要因は、株主資本が親会社株主に帰属する四半期純利益198百万円等により156百万円、その他の包括利益累計額合計が29百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年10月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,795	1,189,712
受取手形及び売掛金	2,234,430	2,242,161
電子記録債権	149,087	179,079
棚卸資産	3,107,344	3,026,635
その他	251,695	496,366
貸倒引当金	△2,220	△2,476
流動資産合計	7,134,132	7,131,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,714,399	4,665,017
機械装置及び運搬具（純額）	1,502,864	1,565,779
土地	2,027,748	2,027,966
建設仮勘定	438,406	684,787
その他（純額）	348,275	411,990
有形固定資産合計	9,031,693	9,355,541
無形固定資産	260,467	227,895
投資その他の資産		
投資有価証券	293,661	265,312
その他	380,952	337,625
貸倒引当金	△13,837	△8,330
投資その他の資産合計	660,776	594,607
固定資産合計	9,952,938	10,178,044
資産合計	17,087,070	17,309,523
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	904,894	787,593
電子記録債務	1,387,301	1,079,781
短期借入金	2,913,451	2,798,609
賞与引当金	70,203	382,799
その他	1,534,926	1,422,735
流動負債合計	6,810,777	6,471,518
固定負債		
長期借入金	6,147,558	6,561,378
役員退職慰労引当金	146,430	146,430
退職給付に係る負債	95,609	107,803
その他	359,768	308,834
固定負債合計	6,749,365	7,124,446
負債合計	13,560,143	13,595,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,510,339	1,510,339
利益剰余金	1,544,397	1,701,035
自己株式	△3,983	△3,983
株主資本合計	3,150,752	3,307,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,294	101,945
為替換算調整勘定	257,880	304,221
その他の包括利益累計額合計	376,175	406,167
純資産合計	3,526,927	3,713,558
負債純資産合計	17,087,070	17,309,523

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）
売上高	11,055,988	13,351,721
売上原価	9,634,229	11,640,113
売上総利益	1,421,758	1,711,607
販売費及び一般管理費	1,115,675	1,265,416
営業利益	306,082	446,191
営業外収益		
受取利息	9	0
受取配当金	6,601	6,161
為替差益	40,556	—
受取家賃	—	14,455
雑収入	23,747	22,292
営業外収益合計	70,915	42,910
営業外費用		
支払利息	96,208	121,484
為替差損	—	29,677
営業外費用合計	96,208	151,161
経常利益	280,790	337,940
特別利益		
固定資産売却益	—	1,108
投資有価証券売却益	—	9,169
特別利益合計	—	10,277
特別損失		
固定資産除却損	1,829	1,751
特別損失合計	1,829	1,751
税金等調整前四半期純利益	278,961	346,467
法人税、住民税及び事業税	75,635	55,575
法人税等調整額	△53,578	92,337
法人税等合計	22,056	147,912
四半期純利益	256,904	198,554
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,904	198,554

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）
四半期純利益	256,904	198,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,798	△16,349
為替換算調整勘定	173,782	46,341
その他の包括利益合計	132,984	29,992
四半期包括利益	389,888	228,546
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,888	228,546
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	617,473千円	670,759千円
のれんの償却額	13,892	—

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	6,758,502	18,007	6,776,509	△642	6,775,866
日本以外向け	709,482	3,671,814	4,381,296	△101,175	4,280,121
顧客との契約から生じる収益	7,467,985	3,689,821	11,157,806	△101,818	11,055,988
外部顧客への売上高	7,366,809	3,689,178	11,055,988	—	11,055,988
セグメント間の内部売上高又は 振替高	101,175	642	101,818	△101,818	—
計	7,467,985	3,689,821	11,157,806	△101,818	11,055,988
セグメント利益	126,101	178,533	304,635	1,446	306,082

(注) 1. セグメント利益の調整額1,446千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	7,024,021	8,810	7,032,831	△8,810	7,024,021
日本以外向け	2,466,076	3,906,094	6,372,170	△44,471	6,327,699
顧客との契約から生じる収益	9,490,098	3,914,904	13,405,002	△53,281	13,351,721
外部顧客への売上高	9,445,626	3,906,094	13,351,721	—	13,351,721
セグメント間の内部売上高又は 振替高	44,471	8,810	53,281	△53,281	—
計	9,490,098	3,914,904	13,405,002	△53,281	13,351,721
セグメント利益又は損失(△)	517,003	△75,234	441,768	4,422	446,191

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額4,422千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。